

いわみざわの家計簿

市は、4月から翌年3月までの1年間を一区切りにした会計年度ごとに、皆さんが納めた税金などの入ってくるお金（歳入）と、それをどのように使うか（歳出）を決める予算を組み立て、議会の議決を得てさまざまな事業を行っています。そして、年度の最後に歳入と歳出、預金や借金の状況を明らかにする決算を行い、議会の承認を受けています。

今月は、一般会計、特別会計、企業会計の令和5年度の決算の内容と令和6年度の予算の執行状況をお知らせします。

問合先 財政課財務係 ☎ 35-4842



僕が解説するよ！
まずは決算の状況
を見ていきます

令和5年度決算



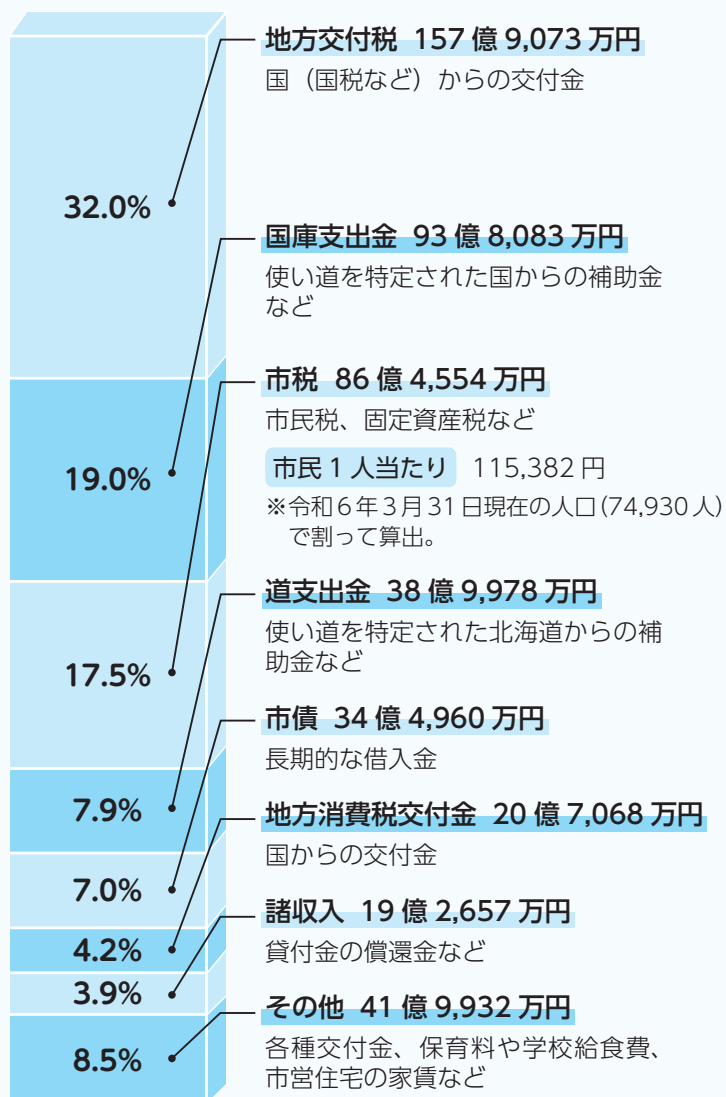
一般会計

公園や道路の整備、除排雪、福祉、学校の整備など、市民の皆さんの生活全般に関する収支を管理する会計です

※ 1万円未満を調整し表記しているため、割合が合わないものがあります。

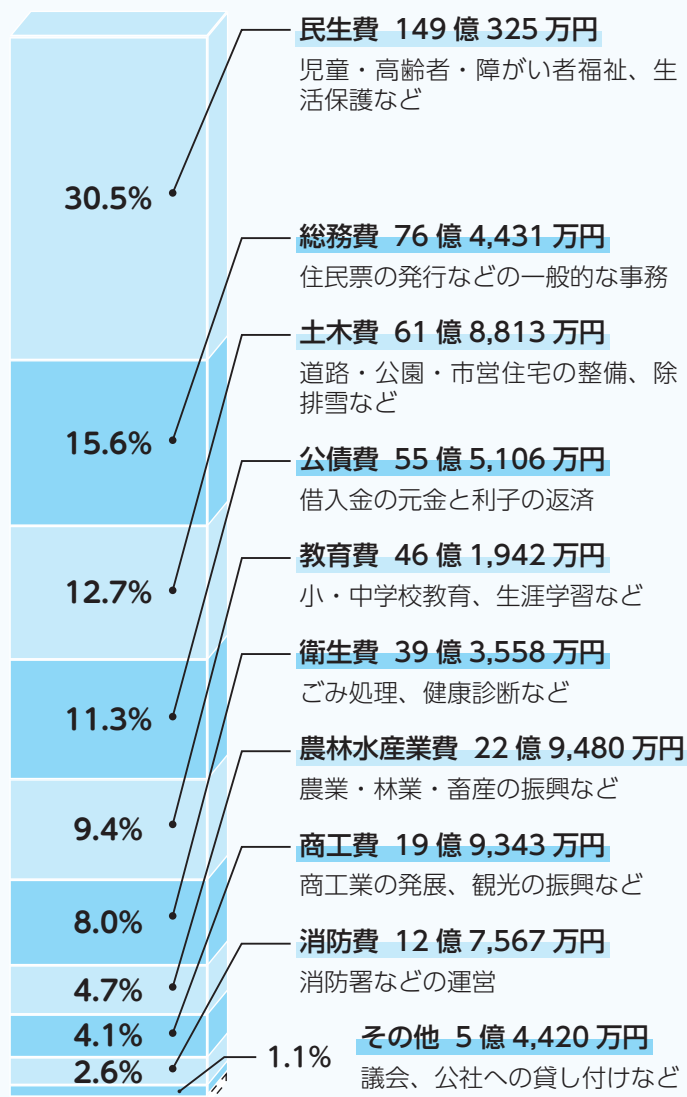
歳入 493億6,305万円

前年度比 4億6,184万円減（0.9%減）



歳出 489億4,985万円

前年度比 3億5,714万円減（0.7%減）



収入と支出の差引額 4億1,320万円（財政調整基金へ積み立て 2億629万円、令和6年度へ繰り越し 2億691万円）

健全化判断比率など

自治体の財政状況を示す指標である健全化判断比率は、いずれの指標も基準を下回っており良好な水準です

これらの基準を上回った場合は、財政再建が必要となります

健全化判断比率の4つの指標

指標	岩見沢市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 一般会計等の赤字を市税などの財政規模と比較する割合	黒字	12.10%	20%
連結実質赤字比率 一般会計のほか、特別会計、企業会計すべての会計の赤字を市税などの財政規模と比較する割合	黒字	17.10%	30%
実質公債費比率 財政規模に対する借入金の返済額およびこれに準じる額の割合	10.5%	25%	35%
将来負担比率 一般会計の借入金や将来支払っていく可能性のある負担などの割合	77.0%	350%	



資金不足比率

指標	会計名と割合	経営健全化基準
資金不足比率 国民健康保険費、介護保険費、後期高齢者医療費を除く特別会計と企業会計の資金不足を料金収入の規模と比較する割合	資金不足が生じている会計はありません	20%

令和6年度 予算の執行状況

一般会計・特別会計

区分		予算額	収入済額	収入率 (%)	執行済額	執行率 (%)
一般会計の合計		492 億 4,400 万円	215 億 5,194 万円	43.8	202 億 5,325 万円	41.1
特別会計	国民健康保険費	84 億 9,332 万円	33 億 1,868 万円	39.1	33 億 5,542 万円	39.5
	公共用地等造成費	1 億 3,405 万円	367 万円	2.7	1 億 2,972 万円	96.8
	公設卸売市場費	3,672 万円	2,195 万円	59.8	2,187 万円	59.6
	高等学校費	6 億 6,047 万円	2 億 7,220 万円	41.2	2 億 6,248 万円	39.7
	企業用地造成費	1,013 万円	4,751 万円	468.8	117 万円	11.6
	介護保険費	90 億 7,342 万円	41 億 5,240 万円	45.8	37 億 605 万円	40.8
	後期高齢者医療費	17 億 1,689 万円	4 億 4,068 万円	25.7	4 億 259 万円	23.4
	合計	201 億 2,500 万円	82 億 5,709 万円	41.0	78 億 7,930 万円	39.2

ここからは、令和6年4月1日から9月30日の予算の執行状況です

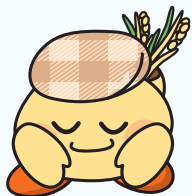


企業会計

病院事業会計			水道事業会計			下水道事業会計		
収益的	収入	64億610万円	収益的	収入	10億7,203万円	収益的	収入	5億7,089万円
	支出	63億4,095万円		支出	4億7,748万円		支出	3億9,828万円
資本的	収入	146万円	資本的	収入	0円	資本的	収入	23万円
	支出	8億385万円		支出	3億2,364万円		支出	3億9,786万円

市債の現在高

一般会計	特別会計
575億9,440万円	8,140万円



今後も引き続き、健全な財政運営に努めます

特別会計

特定の事業について、一般会計と区別して収支を管理する場合に設ける会計です

会計別	歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康保険費	86億7,440万円	84億9,279万円	1億8,161万円
公共用地等造成費	635万円	1億3,079万円	△1億2,444万円
公設卸売市場費	3,482万円	3,421万円	61万円
高等学校費	6億803万円	6億718万円	85万円
企業用地造成費	5,071万円	506万円	4,565万円
農業集落排水事業費	9,755万円	8,693万円	1,062万円
介護保険費	91億2,110万円	86億4,837万円	4億7,273万円
後期高齢者医療費	15億1,469万円	15億1,322万円	147万円
合計	201億765万円	195億1,855万円	5億8,910万円

国民健康保険などは一般会計とお財布を別にして、収入と支出を確認しやすくしています



企業会計

民間の企業と同じ手法で事業を行い、必要な経費は利用料金などの収益で賄う独立採算制で運営しています

各企業会計		収入	支出	差引
病院事業	収益的	117億448万円	128億3,961万円	△11億3,513万円
	資本的	4億2,797万円	11億3,297万円	△7億500万円
水道事業	収益的	21億1,270万円	17億5,793万円	3億5,477万円
	資本的	5億1,454万円	13億2,470万円	△8億1,016万円
下水道事業	収益的	25億6,583万円	22億7,142万円	2億9,441万円
	資本的	6億237万円	12億6,057万円	△6億5,820万円

収益的 病院診療報酬、水道料金、下水道使用料などの収入と人件費や維持管理費など事業の運営に必要な支出
資本的 企業債など財源となる収入と、将来の営業活動に備えて行う施設の整備などの支出

【病院事業】			
●市立総合病院			
1日平均	入院	266人	外来 702人
●市立栗沢病院			
1日平均	入院	59人	外来 47人

【水道事業】	
給水戸数	42,779戸
給水人口	74,875人
総配水量	9,105,858m ³
1日平均配水量	24,879m ³

【下水道事業】	
処理区域面積	2,364ha
普及率	88.6%
水洗化率	99.3%
処理水量	10,845,435m ³

財産

市が保有する財産には、市役所本庁、支所、図書館などの公共施設や土地、さまざまな目的のために積み立てた基金（預金）などがあります

市有財産の状況（令和5年度末）	
建物	535,192m ²
土地	29,206,735m ²
山林	17,395,901m ²
機械器具（車両）	215台
基金	土地 165,225m ²
	現金 130億299万円
	貸付金 7億6,850万円
有価証券	4,521万円
出資による権利	4億3,216万円

借金

市債（借金）には、建設事業費の世代間負担を公平にする役割がありますが、その返済が将来の世代に大きな負担とならないよう適正な管理に努めています

市債の残高（令和5年度末）	
各会計	現在高
一般会計	603億1,059万円
特別会計	4億4,815万円
公共用地等造成費	1,153万円
高等学校費	7,132万円
農業集落排水事業費	3億6,530万円
合計	607億5,874万円

市の借金である市債残高は昨年度より減少しています

